



郷土を力強く

切り拓く市政

任期満了に伴う銚子市長選挙で越川信一市長（63歳）が再選され、投票日翌日の4月28日（月）、初登庁しました。

チーム銚子の力！

銚子市長 越川 信一

市と民間事業者が連携し、知恵を絞り努力を重ねてきたふるさと納税は、寄附額約3億円（令和4年度）から約27億円（令和6年度）に増加し、給食費・保育料の無償化などの子育て支援を拡充することができました。170の事業者から水産物・農産物など700品目の返礼品の提供をいただき、銚子の魅力あふれる地場産品がふるさと納税拡大の源になっています。

こうした公民連携により「チーム銚子」の力を引き出し、成功体験を積み重ねていくことが、銚子の未来を力強く切り拓くことにつながります。

銚子電鉄が笠上黒生駅で脱線事故を起こし走れなくなった時、立ち上がったのは銚子商業の高校生たちでした。クラウドファンディングで全国に寄附を呼びかけ、約

500万円の修理代を集め、車両を復活させました。銚子が大好きだという子どもたちの思いを受けとめ、これからの銚子を築いていかなければなりません。

愛する郷土は、未来に生きる子どもたちからの預かり物です。豊かな自然と食と人。どこにも負けない地域資源をさらに磨き、輝かせ、次世代に引き継ぐ責任が、今を生きる私たちにはあります。洋上風力発電の実現、千葉科学大学の応援、安定した財政の確立、新銚子中学校の校舎整備、船木小と椎柴小の統合、企業誘致、公共施設の整備。一つひとつの課題・目標に取り組み、市民の幸福度と活力を高め、「銚子で暮らし続けたい」と思える地域を共に築いてまいりましょう。